



心豊かに育ちあう

沢の子

令和7年度 重点目標

“すすんで学びあう、
笑顔あふれる
子どもの育成”

余市町立沢町小学校 令和7年4月28日(月) 第1号

「あ・い・う・え・お」から始まる152周年

校長 森木 真也

野山ではフクジュソウ・カタクリ・エゾエンゴサクが、庭のクロッカス・スイセン・チューリップが、遠くにはサクラやキタコブシの花が、それぞれの場所から春の訪れを次々に伝えています。

さて、沢町小学校の令和7年度が始動しました。グランドデザインに示しました学校教育目標「心豊かに育ちあう沢の子」の具現化を図るために、「すすんで学びあう笑顔あふれる子どもの育成」を重点目標に据え、教職員一人一人の力を結集し児童一人一人を支えて参ります。更に5つの領域に10項目の目標を立て教育活動に取り組みます。始業式と入学式では、その基礎となる5つの事項について話しました。それは、「あいうえお」のお話です。

★「あ」は挨拶の「あ」

挨拶は「心と心をつなぐ合い言葉」「心と心のキャッチボール」などと言われるように、人間関係の基礎を築いてくれます。「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」等の他、「はい」「ありがとうございます」という返事も重要な挨拶の一部です。気持ちの良い挨拶返事ができる沢町小の子を楽しみにしています。

★「い」は命の「い」

かけがえのないたった一つの命。大切にすることは当たり前ですが、注意一秒怪我一生・・・ちょっとした不注意が取り返しのない事態に繋がります。春は雪の解けた道路を大人も心躍らせ車を走らせます。どうか、交通安全に細心の注意を払って生活してほしいです。また今後は、「SOSの出し方」などの命の教育にも取り組んで参ります。「自分の命は自分で守る」ことのできる沢町小の子を定着します。

★「う」は運動の「う」

「三間がない」の時代から始まり、ゲーム機器の普及を経て運動能力低下が叫ばれ続けています。本校では、休み時間に体育館ではバドミントンを、2階 TT ルームでは卓球を行っています。今後は縄跳びで汗を流したりグラウンドや遊具などで遊んだりする姿が多く見られることと思います。例年行われています「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果を分析し、改善も図ります。健やかで丈夫な体づくりに取り組む沢町小の子を育てます。

★「え」は笑顔の「え」

「笑っていればいいことはある」という言葉からも、笑顔は自分の心を前向きにします。そして、人の心も明るく照らします。学校生活は人生と同じで、楽しいことばかりではありません。苦しいことや辛いことも経験して、大きく成長します。新年度を迎え、新しい時間・空間・仲間とともに期待の気持ちだけではなく、不安も感じている事もあるかもしれません。そんな時に、誰かが誰かの笑顔に出会えることを願っています。

★「お」はお友だちの「お」

1年生に向けた「お友だちと仲良く」、上級生には「仲間を大切に」という内容を伝えました。たとえ、けんかしたとしても互いを知るチャンスとなります。子ども同士の切磋琢磨と学校・家庭・地域でのつながりで、一人一人の個性伸長と将来への希望へ導くことができたなら、子どもたちはどんなに幸せでしょうか。子ども一人一人の「ウェルビーイング」の実現を果たして参ります。

152周年を迎える沢町小学校は、これまでの歴史と伝統を引継ぎながら、全ての教員が全ての子どもたちのために新たな歩みを進めて参ります。令和7年度の今後の教育活動へのご協力とご支援をよろしくお願いいたします。